

経営比較分析表（平成30年度決算）

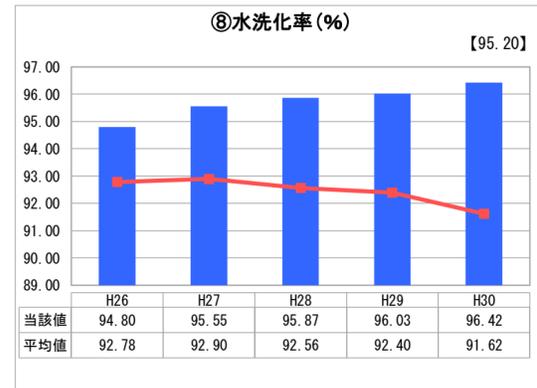
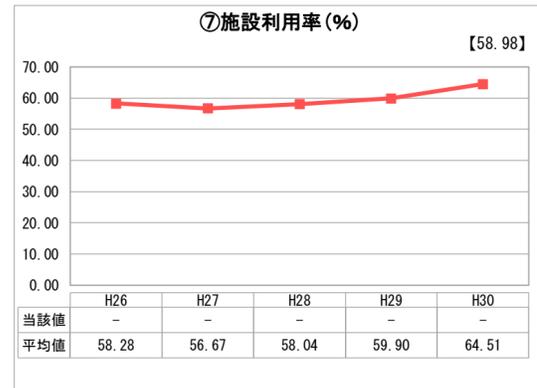
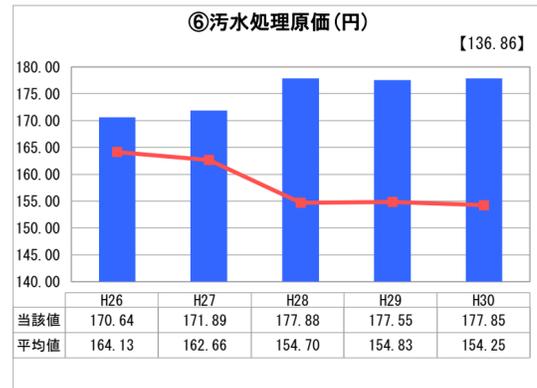
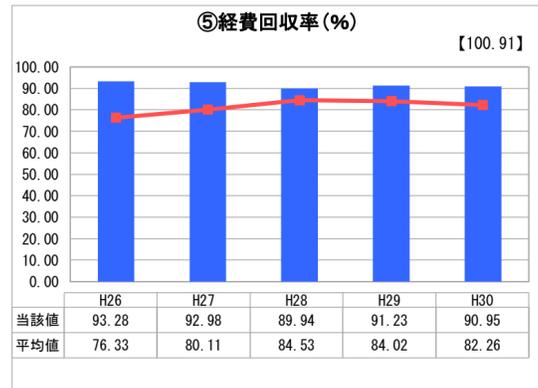
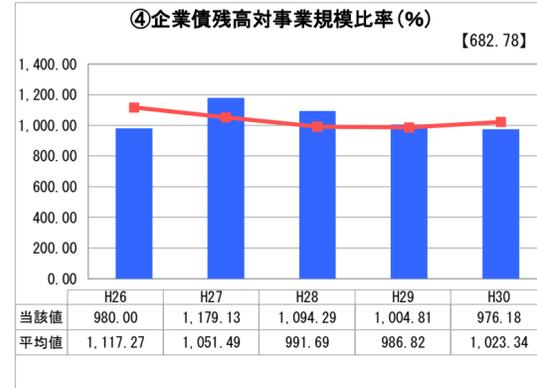
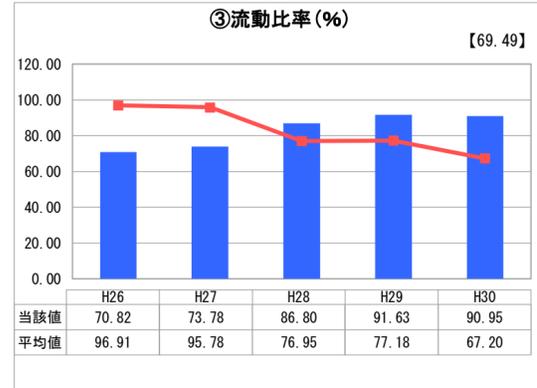
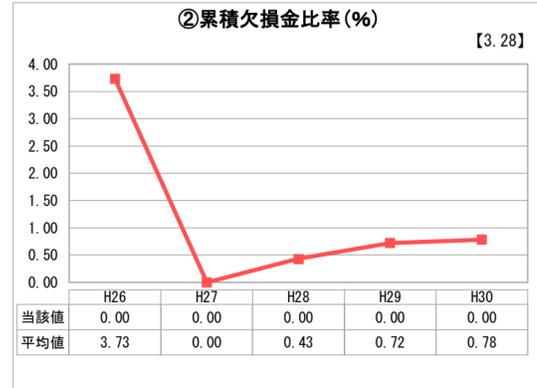
福岡県 粕屋町

| 業務名 | 業種名 | 事業名 | 類似団体区分 | 管理者の情報 |
|-----------|-------------|--------|--------|--------------------------------|
| 法適用 | 下水道事業 | 公共下水道 | Bc2 | 非設置 |
| 資金不足比率(%) | 自己資本構成比率(%) | 普及率(%) | 有収率(%) | 1か月20m ³ 当たり家庭料金(円) |
| - | 51.09 | 98.16 | 94.98 | 2,700 |

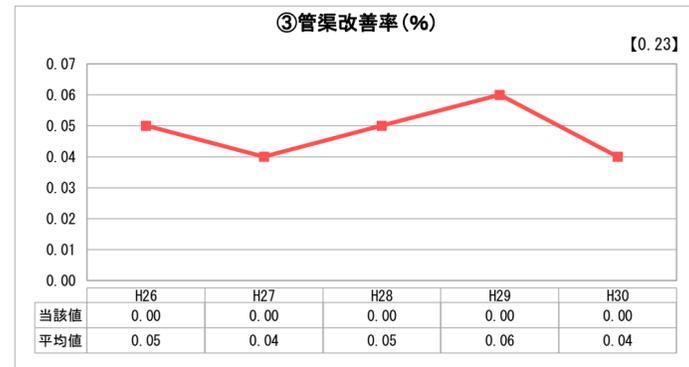
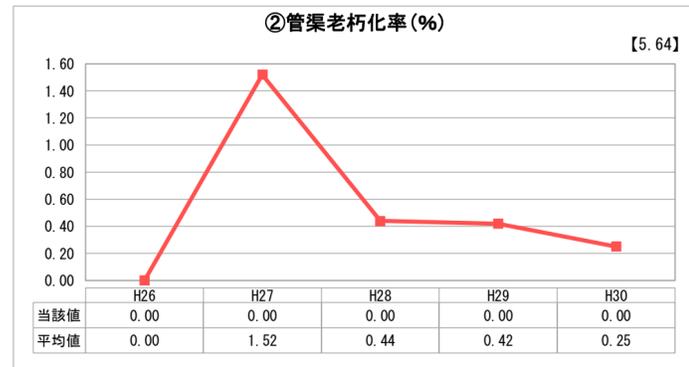
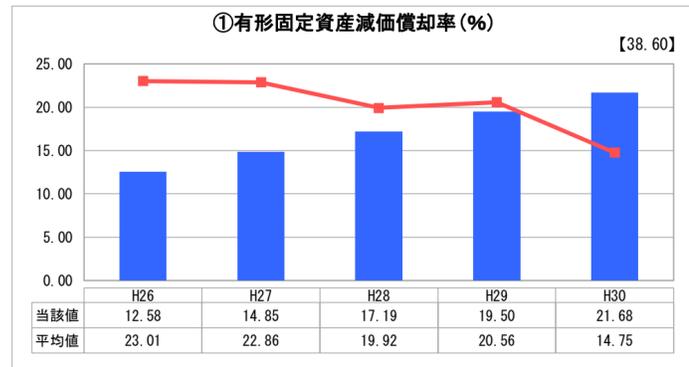
| 人口(人) | 面積(km ²) | 人口密度(人/km ²) |
|------------|--------------------------|-------------------------------|
| 47,658 | 14.13 | 3,372.82 |
| 処理区域内人口(人) | 処理区域面積(km ²) | 処理区域内人口密度(人/km ²) |
| 46,657 | 7.40 | 6,305.00 |

| グラフ凡例 | |
|-------|--------------|
| ■ | 当該団体値(当該値) |
| — | 類似団体平均値(平均値) |
| 【 | 平成30年度全国平均 |

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は100%を超えており、経費回収率は100%未満であるものの、類似団体平均値を上回っている。
また、企業債の償還も進み、企業債残高対事業規模比率も類似団体平均値を若干ながら下回り、改善が見られる。
ただし、水洗化率は96%から伸び悩んでおり、今後下水道使用料収入の大幅な伸びは見込めないため、将来の管渠更新等に備え、留保資金を確保する必要がある。
また、経費回収率・汚水処理原価も昨年度同様改善の必要があるため、今後も引き続き維持管理費の削減、あらゆる効率性を求め取組むことが必要である。

2. 老朽化の状況について

現在、法定耐用年数を超えた管渠等はないものの、老朽化は進んでいるため、更新時期へ向けて、適切な投資計画を立てる必要がある。

全体総括

現在の経営状況は今のところ健全であると考えられるが、収入の柱である下水道使用料の大幅な伸びは見込み難い中、今後の人口増加、将来に向けた管渠等の更新も見据え、経営戦略の見直しを実施し、バランスの取れた計画的な投資を行うことが必要である。
そのため、健全な経営状況を維持できるよう、上記の方策を通してより効率的な経営を持続しなければならない。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。